

平成30年度 篠山小学校地域学校協議会プラン

1 提言

- ① 学力の保障と向上の課題を解決するために、補充学習の充実と家庭学習習慣を定着・強化する。
- ② 社会力を育成するために、友達や地域の方々に「進んで挨拶」を定着・強化する。

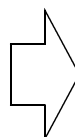
2 提言の実働化に向けた役割と具体的な取組 (3者協働の場合)

	学 校	家 庭	地 域
提 言 ①	<ul style="list-style-type: none"> ○「自学のしおり」を発行し、学年毎のメニュー表を作成し、児童相互、担任による評価を行う。 ○夏季休業中、学校及びコミュニティセンターでの補充学習への参加の促しと指導を行う。 ○中学校と連携し、ノーメディアデーを設定し、取組を啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自学のしおり」や学年毎のメニュー表を参考に、保護者による自学の評価を行う。 ○「家庭学習の強化週間」を設け、家庭で実践・評価する。 ○ノーメディアデーにおけるゲームやテレビに代わる家庭での時間の過ごし方(団らん等)について話し合い、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏季休業中にコミュニティセンターで補充学習を行う。 ○補充学習の教材、指導の進め方について学校と打合せを行う。 ○ノーメディアデーの取組について理解・協力をする。
提 言 ②	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の社会力の実態と課題を、児童、家庭、地域に説明する。 ○各学級で「挨拶いっぱい運動」の具体案を検討する。 ○地域連携担当教職員による地域との打ち合わせをする ○「挨拶いっぱい運動」を実践・評価する場を設定する。 ○学習や行事等で「地域の方を知る活動」を仕組み、児童の自発的行動を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭で挨拶いっぱいとなるような促しの声かけと賞賛を行う。 ○家庭での「挨拶いっぱい強化週間」を設け、家庭で実践・評価する。 ○「挨拶いっぱい運動の家庭推進委員」を募集、登録し、学校との打ち合わせをする。 ○「地域の方を知る活動」を通して進んでコミュニケーションをとるよう励ます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会力を育成する必要性、課題解決のための地域人材確保について広報する。 ○地域での「挨拶いっぱい強化週間」を設け、実践・評価する。 ○「挨拶いっぱい運動の地域推進委員」を募集、登録し、学校と打ち合わせをする。 ○「地域の方を知る活動」を支援し、GT等として児童と関わる。

3 子どもたちの成長

〈年度初め〉

- ① 「家の人から言われなくても自分から進んで勉強する」と答えた児童は約8割
評定1の児童の割合は約7%
- ② 「家や近所の人に自分から挨拶をする」と答えた児童は79.6%



〈年度末〉

- ① 「家の人から言われなくても自分から進んで勉強する」と答えた児童8割以上の維持
評定1の児童の割合は5%以下
- ② 「家や近所の人に自分から挨拶する」と答えた児童が80%以上